

PwC Deals

Drive your growth. Secure your future.

世界の自動車業界 2018年第4四半期および2018年のM&Aに関するインサイト

エグゼクティブサマリー

2018年の世界の自動車業界のM&Aは、取引金額ベースで過去最高となり、前年の484億米ドルから倍増し975億米ドルとなった。この要因として、取引金額の43%に相当する大型案件が5件あり、自動車部品サプライヤーが将来の主要技術の確保と規模拡大のための再編に向けて投資を継続していることを反映している。同年において取引件数別で最大となった10億米ドル超の取引は20件あり、過去3年間における同平均件数の倍以上となった。2019年においては、マクロ要因が逆風となり得るものの、資金力と業界の変化のスピードが好調なM&A環境を支えるであろう。



「新技術と規模の経済が2018年の自動車業界のM&Aを牽引した」

—ジェフ・ザレスキー
PwC オートモーティブ・ディールパートナー

2018年	2018年 vs. 2017年	2018年第4四半期 vs. 2018年第3四半期
取引金額計 975億米ドル	101%	67%
取引件数計 903件	1%	12%
平均取引金額 2億8,680万米ドル	74%	94%

トレンドとハイライト

- 大型案件が2018年の取引金額を牽引。取引件数は横ばいであったものの、同年の取引金額は975億米ドルと倍増を越す伸びであった。2018年において5件の大型案件があり、その全ては自動車部品カテゴリーにおける案件となった。
- 2018年平均公表取引金額は2億8,680万米ドルであり、2017年比74%の増加となった。要因は大型案件と全般的に高いバリュエーションマルチプルである。
- クロスボーダー取引は2018年に減速した。要因は貿易摩擦の激化と、地理的拡大に対する注力が製品・規模の拡大ほどには強くないことにある。
- プライベート・エクイティは2018年、自動車関連に大きく投資した。これは、今後数年においても、自動車業界の取引金額を押し上げる要因と見られる。

注：取引金額と平均取引金額は金額を公表している案件に基づいたもの。取引件数は、金額公表・非公表を含め、全取引を含む。

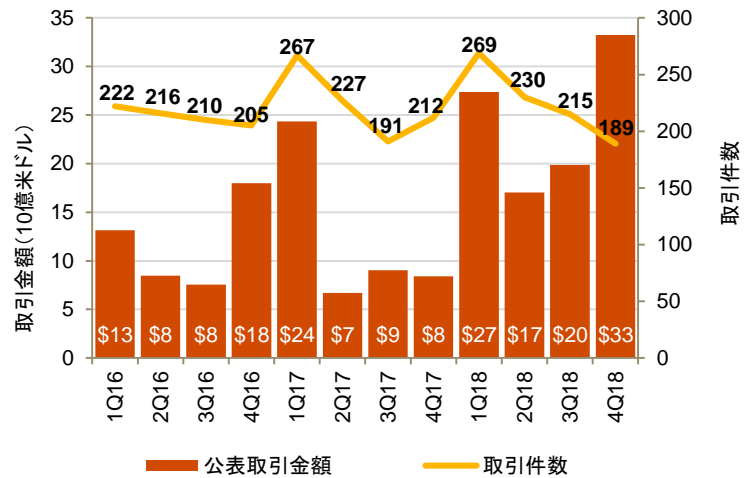
2018年のハイライト

取引金額・件数の概況

2018年の取引件数は2017年比横ばいであったものの、同年取引金額975億米ドルは、2017年比大幅な増加となった。2018年第4四半期の取引金額は第3四半期比67%増加し、332億米ドルとなった。要因は次の2件の大型案件であった。1件目はJohnson Controls International PLCのパワーソリューションズ事業を投資家グループが132億米ドルで買収したもの。2件目はMagneti Marelli SpAを71億米ドルでCKホールディングス株式会社に売却されたもの。上位10件のうち、ほとんど全ての案件は製品拡大（買手企業が未来の自動車業界における自社のポジショニング向上を図る）、または規模の経済性追求に焦点を当てたものとなった。

取引件数は、通年では横ばいであったが、前2四半期に続き第4四半期も減少した。

取引金額（10億米ドル単位）と件数



最大取引

2018年の最大取引は、投資家グループによるJohnson Controls International PLCパワーソリューションズ事業の買収132億米ドルであった。2018年の上位3件（5ページ参照）には、買手にフィナンシャルインベスターによる支援があった。

大型案件（50億米ドル以上）

2018年において5件の大型案件が発表された。同5件の合計取引金額は420億米ドルで、全取引金額の43%に相当した。第4四半期に2件の大型案件があり、同四半期における全取引金額の61%を占めた。この件数は、年間平均大型案件数1-2件の自動車業界において、記録的な数字である。

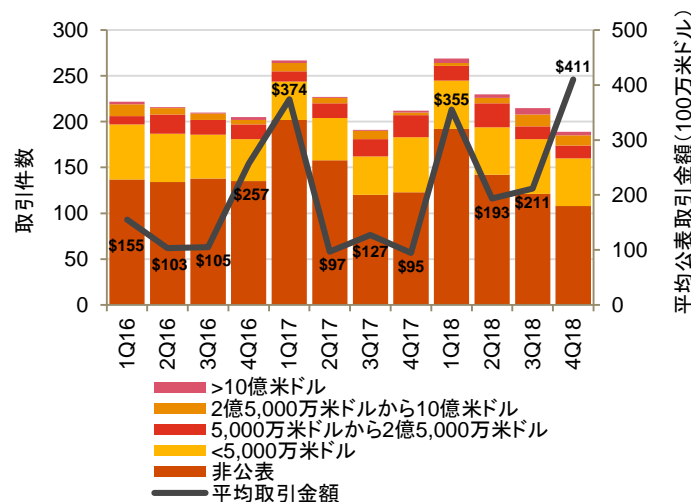
132億 米ドル



大型案件 5件



公表取引金額別M&A案件



公表取引金額別M&A案件と平均取引金額

2018年の平均取引金額は、2017年の1億6,490万米ドルから74%増加し、2億8,680万米ドルとなった。大型案件が一つの要因だが、引き続き全カテゴリーにわたり、バリエーションが高くなっている。大型案件を除くと、2018年の平均取引金額は前年比47%増加し、1億6,560万米ドルとなった。

2018年第4四半期の平均取引金額は4億1,050万米ドルで、過去12四半期で最高となった。

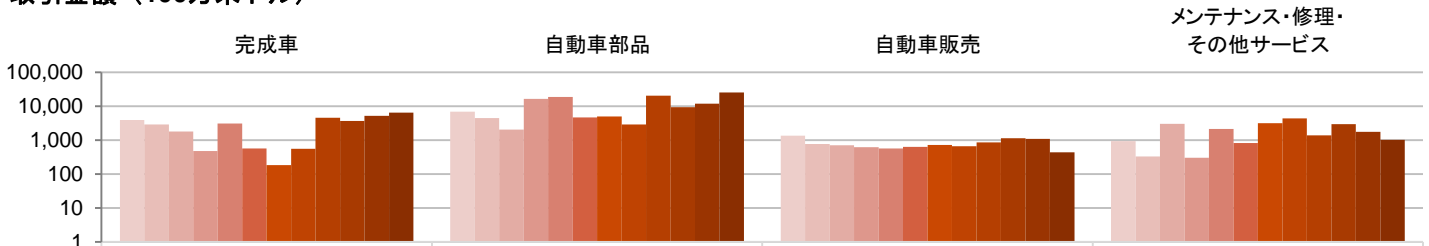
出典：トムソン・ロイター、その他の公表情報 1大型案件の定義：公表取引金額50億米ドル以上の案件

2018年のハイライト（続き）

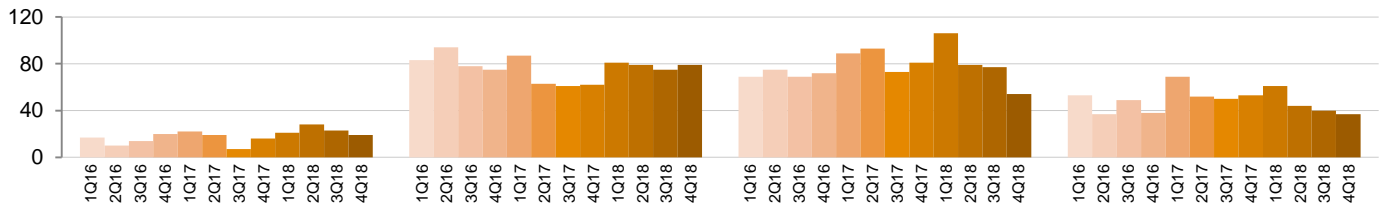
業界カテゴリー分析

2018年において、自動車部品カテゴリーが取引金額の69%を占め、完成車カテゴリーの20%がそれに続いた。取引件数としては、自動車部品カテゴリーと自動車販売カテゴリーがそれぞれ35%を占めた。第4四半期には、自動車部品カテゴリーが取引金額の76%を占め、増加を牽引した。これはサプライヤーによる規模、製品拡大、将来技術における戦略的優位性の追求を反映している。

取引金額（100万米ドル）



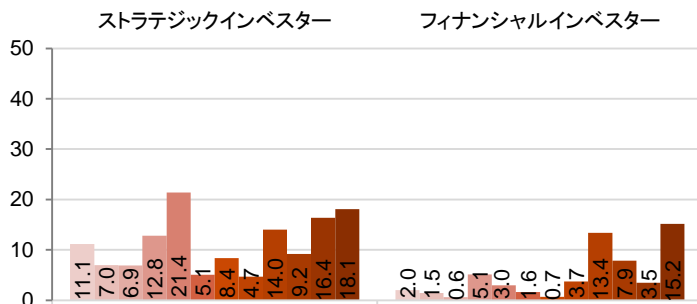
取引件数



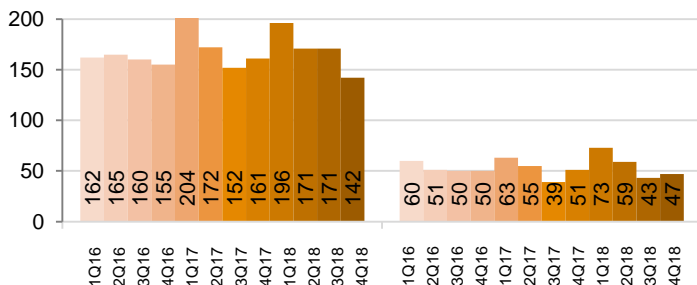
フィナンシャルインベスターとストラテジックインベスター

ストラテジックインベスターが引き続きM&A取引を牽引し、2018年における取引金額の59%、取引件数の75%を占めた。もっとも、フィナンシャルインベスターも引き続き活発な動きを見せており、魅力的な投資案件には大金を支払う意思があることは、2018年の上位3案件にフィナンシャルインベスターが参画していることが示している。

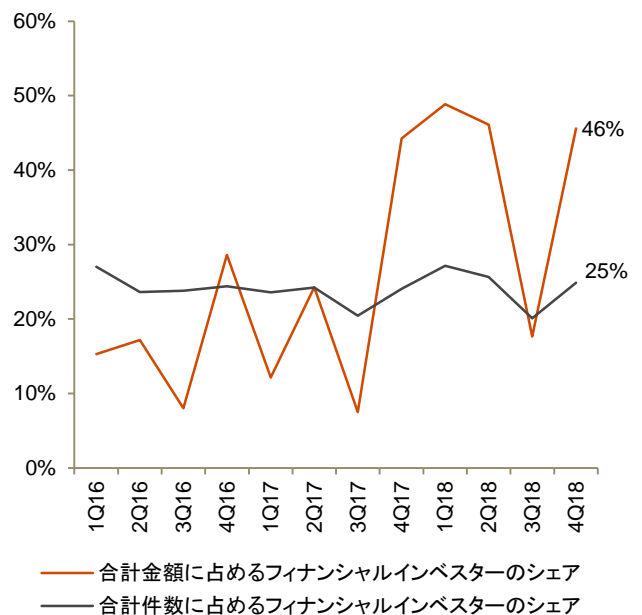
取引金額（10億米ドル）



取引件数



M&Aにおけるフィナンシャルインベスターのシェア

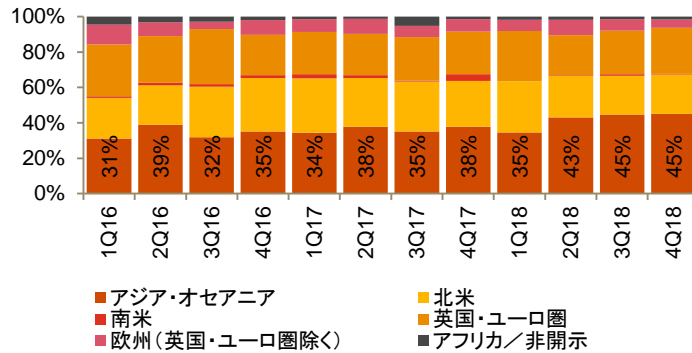


2018年地域別取引動向

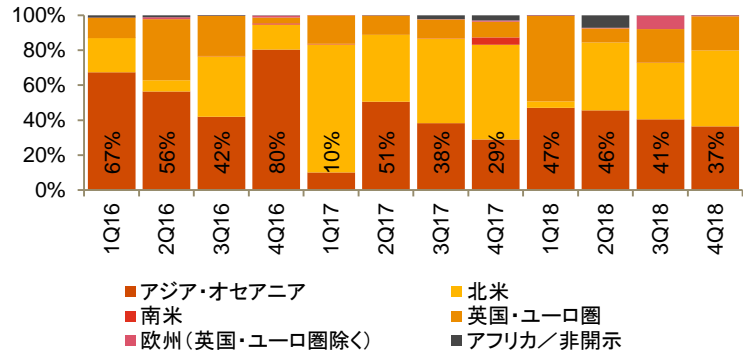
地域別分析

2018年は、アジア・オセアニア地域の企業が買手になる案件が取引金額の42%を占め、最大となった。それに続いたのは北米地域で、29%を占めた。買手企業案件数においてもアジア・オセアニア地域が最大で、41%を占めた。北米地域の24%がそれに続いた。ターゲット企業案件では、アジア・オセアニア地域と北米地域が取引金額ベースでそれぞれ34%を占めた。第4四半期におけるクロスボーダー案件数は、前2四半期における二桁減少から反転し、7%増加したが、引き続き国内案件がM&A活動を牽引している。

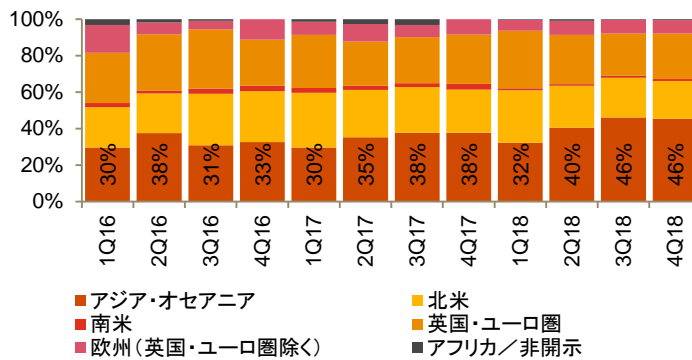
取引件数ベースでの買手企業地域別シェア



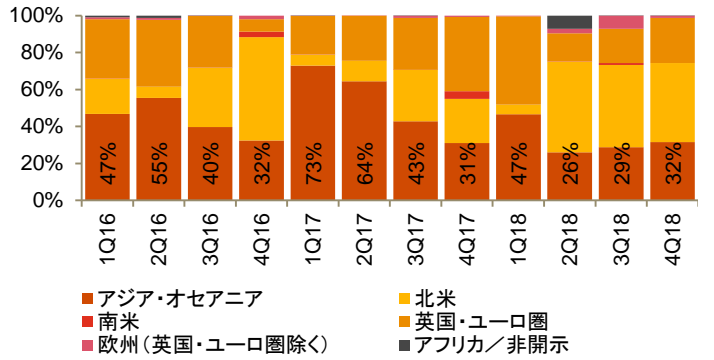
取引金額ベースでの買手企業地域別シェア



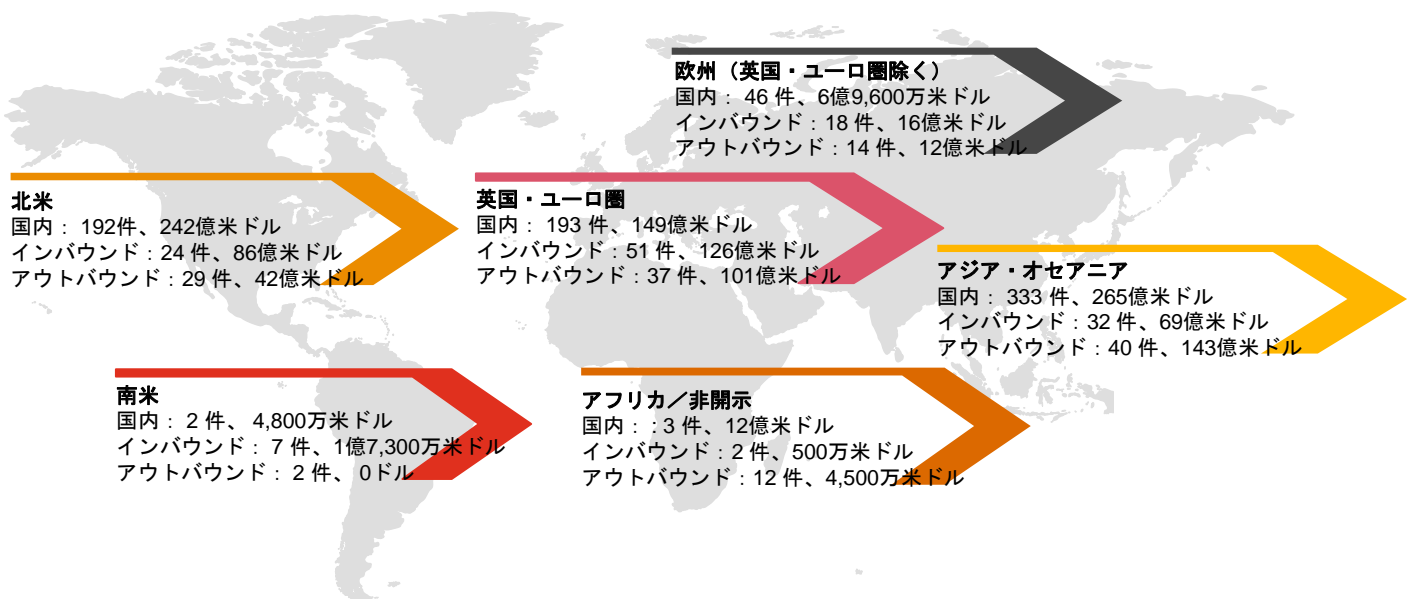
取引件数ベースでのターゲット企業地域別シェア



取引金額ベースでのターゲット企業地域別シェア



地域別自動車業界M&A



自動車関連のトップM&A案件（2018年）と見通し

発表された主要取引（2018年）

発表日	ターゲット企業	所在国	買手企業	所在国	現状	取引金額*	カテゴリー
11/13/18	Johnson Controls International PLCのパワーソリューションズ事業	米国	投資家グループ	カナダ	ペンディング	13,244	自動車部品
01/12/18	GKN PLC	英国	Melrose Industries PLC	英国	完了	11,016	自動車部品
10/22/18	Magneti Marelli SpA	イタリア	CKホールディングス株式会社	日本	ペンディング	7,138	自動車部品
04/10/18	Federal-Mogul Holdings Corp.	米国	Tenneco Inc.	米国	完了	5,400	自動車部品
03/07/18	Bhushan Steel Ltd.	インド	Bamnival Steel Ltd.	インド	完了	5,216	自動車部品
01/22/18	Beijing Electric Vehicle Co. Ltd.	中国	Chengdu Qianfeng Electronics Co. Ltd.	中国	完了	4,508	完成車
10/11/18	BMW Brilliance Automotive Ltd.	中国	BMW Holdings BV	オランダ	ペンディング	4,189	完成車
07/26/18	Aleris Corporation	米国	Novelis Inc.	米国	ペンディング	2,600	自動車部品
09/18/18	Erwin Hymer Group SE	ドイツ	Thor Industries Inc.	米国	ペンディング	2,561	完成車
05/31/18	GM Cruise Holdings LLC	米国	ソフトバンク・ビジョン・ファンド	日本	ペンディング	2,250	完成車

出典：トムソン・ロイター、その他の公表情報

*単位：100万米ドル

自動車業界の今後の見通し

自動車業界は大不況を経て、ここ10年間に於いて大きく成長した。2018年は、取引件数は横ばいであったものの、取引金額では記録的な年となった。しかし2019年に入り、業界は強い逆風にさらされている。成長の鈍化、金利の上昇、国際貿易に関する懸念、不安定な金融市場、などである。ただこうした逆風はあるものの、2019年におけるM&A活動とその金額については、引き続き活発なものになると予測する。

自動車業界は電子化、軽量化、コネクティビティ、自動運転等の技術に関連して大きな転換期にある。こうした転換の動向に合わせた製品拡大に取り組むために、企業は引き続きパートナーシップやジョイントベンチャーを含むM&Aに注目するであろう。

業界の再編が、引き続きコスト削減と株主価値向上のための重要な戦略である。自動車業界はいまだ細分化されており、規模の経済性を高めるための再編の余地が引き続き存在する。

自動車業界の成長予想や強化したい分野は地域によって大きく異なる。新興市場企業は、引き続き技術と能力を求めて成熟市場における買収に関心を向けるであろう。成熟市場企業は、成長を求めて新興市場に関心を向けるであろう。

資金は引き続き提供可能な状態である。フィナンシャルインベスターは豊富な手元資金を持ち、企業のバランスシートは（過去、自動車業界が減速する可能性のあった時期に比べ）良好である。金利の上昇にもかかわらず、銀行は金利引き上げと流動性の引き締めに対し、緩やかなアプローチをとると考えられる。

PwCの見通しは前向きなものであるが、自動車企業は、買収・パートナーシップ・ジョイントベンチャーの戦略的価値およびシナジー効果を入念に評価する必要がある。さらに、自動車企業は、価値を解き放ち、追加資金を生み出して自社の価値をさらに向上させるべく、事業ポートフォリオを評価し、事業内容によっては売却を検討すべきである。

お問い合わせ

岡本 徹也

PwCアドバイザー合同会社
パートナー
オートモーティブセクターリーダー

080-1271-7809

Tetsuy.okamoto@pwc.com

著者

Jeff Zaleski

Partner, US Automotive Deals
Leader

Gonzalo Nespolo

Director, Automotive Deals

Chris Sutton

Senior Associate, Automotive Deals

取引を成功させる企業は、他社が見落としがちな価値を見出す大局観や、不測の事態に対応できる柔軟性、厳しい競争の中でも有利な条件を勝ち取る大胆さに加え、契約が成立した瞬間から直面するさまざまな課題を見出すための慎重さを兼ね備えています。しかし、情報が瞬時に駆け巡るような事業環境の中では、取引を実効性のあるものとするために、経験豊富なアドバイザーに助言を求める企業こそが、真に取引を成功に導くことができます。

PwCのディールプラクティスは、自動車関連企業ならびに自動車関連を重点対象とするプライベート・エクイティに対し、M&A関連の幅広い助言サービスを提供します。これには、買収または分割先候補の選定、詳細な買収側デューデリジェンスの実行から、ディール後の利益獲得や、売却、カープアウト、IPOを通じたディールの出口戦略立案などが含まれます。当社は世界全体で2万人を超えるディール専門スタッフを擁し、貴社のビジネス拠点や取引対象地域がどこであれ、自動車業界に関する豊富なスキルと現地の市場についての知見を兼ね備える最適なチームを展開することが可能です。

取引には一つとして同じものはありませんが、戦略的M&Aに関する助言やデューデリジェンス、取引のストラクチャリング、M&A関連の税務、買収後の統合、バリュエーション、取引成立後の各種サービスなど、当社の幅広い経験は、多くの場面でお役に立つでしょう。

すなわち、当社は貴社の個別の取引状況に合わせ、それぞれのリスク特性の範囲内で最大の価値を引き出せるよう設計された統合的ソリューションを提供いたします。貴社の目的が買収や合併という投資であれ、IPOまたは私募による資金調達であれ、または資産売却による投資の回収であっても、当社はあらゆる場面で貴社を支援することができます。

世界の自動車業界のM&Aおよび関連サービスについての詳細は、

<https://www.pwc.com/jp/ja/industries/auto.html> or

<https://www.pwc.com/jp/ja/services/deals/mergers-acquisitions.html> をご覧ください。

日本における、自動車産業に関する情報については、以下のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.pwc.com/jp/ja/industries/auto.html>

データについて

本レポート中の情報は世界の自動車業界のM&Aについての分析です。M&Aの情報はトムソン・ロイターのものを用いており、被買収企業がトムソン・ロイターの区分による自動車産業（Automotive mid-industry）に該当する企業の買収を含んでいます。自動車業界のM&Aに該当しない取引を除外し、SIC（標準産業分類）業種コードから外れた取引を含めるため、一部情報に調整を加えています。

本分析は、2016年1月1日から2018年12月31日の期間に発表された金額が開示されたまたは開示されていない全ての個別の買収、合併、部門売却、レバレッジドバイアウト、民営化、少数株主持分購入、残余持分取得を対象とし、完了、一部完了、進行中、当局承認待ち、完了待ちの取引状況の案件を含みますが、風評や買収要望段階の案件は全て除外しています。また、既存株主への株式配分によるスピンオフ取引はデータに含めています。

パーセントや金額は整数表記されるよう四捨五入しているため、合計すると若干の誤差が生じる場合があります。